

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

令 和 8 年 1 月 3 0 日

犬 山 市 議 会

議 長 大 沢 秀 教 様

議 員 名 小 川 清 美

下記のとおり、先進地視察の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	令和8年1月27日(火) ～ 令和8年1月28日(水) (1 泊 2 日)
(2) 場 所	大阪市（民間企業）及び香川県 ^{みとよし} 三豊市
(3) 形 態	創犬会先進地視察研修
(4) 内 容	▼大阪市 ツルカメO&E（株）民間企業 内容； 公共の温浴施設の運営についての相談等 対応； 取締役総務管理部長 黒川政志 氏 取締役営業開発部長 須賀啓太 氏 (1) ツルカメO&E（株）の概要 もともとは温浴施設機器の販売、保守代理店からスタートした企業で昨年50周年を迎えることができた。又、先代は（現在、代表取締役）風呂屋さんを経営していたこともあり、特に温浴施設に特化した経営のほか、施設内のレストランも自社運営を行なったり、施設全体をプロデュースするなど、温浴施設に関わるあらゆる分野に精通した企業といえる。 なお、中国へも進出しているといった発言があった。 その他 ○公共施設から温浴施設の運営受託を行っている。 ○愛知県内では、中部電力関連企業から依頼を受けて20年間ほど運営していたアオイ湯があったが、昨年閉館した。 ○職業体験の受け入れも行っている。 ○宿泊施設を伴った施設運営は現状では無い (2) レクチャー → 温浴施設の運営を引き受ける場合の考え方 ・収支の現状、利用客数など、トータル的な判断に依る。 ・自治体の協力（支援）がどれだけあるのか。 上下水道の減免の有無など



- ・指定管理か完全譲渡なのか。

※無償譲渡はリスクがある。どちらかと言えば指定管理のほうが手を出しやすい。

- ・自治体の施設の場合、当該施設の更新やリニューアルが課題
- ・昨今は、風呂だけでは無く、付帯施設（漫画、食事…）の充実がどうなのか
- ・ツルカメO&Eの考え方（損益分岐点）

利用者数 20,000人/月

さら・さくらの場合 7万人程度/年間

◎当市のさら・さくらの湯について、ツルカメO&E（株）事前調査した結果 →車で30分以内の商圏人口 → 50万人なので、魅力有り

▼香川県三豊市（於；ふれあいパークみの）

内容； 公共の温浴施設を民間に譲渡した自治体で、その経緯等について調査

対応； 三豊市政策部産業政策課長 西城利隆 氏

同上

主任主事 長尾香奈 氏

三豊市議会事務局課長補佐 金藤かおり 氏

(1)三豊市の概要

- ・人口約5万7千人。世帯数約2万3千人
- ・平成18年7町の対等合併で誕生
- ・高齢化率38%で、当市と比較してかなり高い

(2)温浴施設民営化について

三豊市内には、温浴施設が3カ所存在

- ・「旧ふれあいパークみの」は、平成7年、公共が運営する施設（三セク。株式会社みの。市の持株54%）として運営開始
- ・平成10年4月から温泉営業を開始
- ・平成29年に、現産業政策課が所管することとなる。
- ・利用者数は、オープン当初の頃の約180,000人/年間をピークとして毎年減少
- ・基金として使用料から50円/人、また入湯税分を毎年繰り入れてきたが、令和4年に枯渇
- ・平成29年3月に市内公共施設について、総合的な調査研究を実施したところ、旧ふれあいパークみのは、老朽化に伴う修繕等費用が将来的に10億円程度と試算された。

	・平成31年に、資産（持株外分）を市がすべて買い取りし、三セクを解散 ・令和7年に、購入後10年間は温浴施設を存続させることを条件として、民間（株式会社 サクセス）へ譲渡 - 譲渡価格 → 一括で、1,900万円 (2,000万円を超えると議決が必要) ・利用料や施設は、民間譲渡後も変えずに運用されている。 ・したがって、客層も殆ど変わっていないが、三セク時代は、例えばロッカーのカギを個人専用のように持ち帰るなど、横着な市民が一部居たが、民間移行後は一切無い。
(5) 成果・提言	○ さら・さくらがオープンし、25年程度経過。施設の老朽化に伴う修繕や大規模なテコ入れが懸念される中、今後維持管理コストなどが、大きな負担となっていく。そのため、将来に向けて今から検討を重ねる必要がある。 ○ 指定管理という手法を否定する訳ではなく、一括売却といった大胆な考え方も必要と考える。 ○ 風呂部分を除くとその大部分が貸館的な用途であるにも関わらず、その利用度が芳しくない状況から、付属施設をどうするかといった議論が必要 ○ 一度、専門的な立場から、現状を見てもらいアドバイスして貰ってはどうか。